

2007年11月29日

タイ・インドにおけるポリプロピレンコンパウンドの
製造設備の新設について

三菱化学株式会社

三菱化学株式会社（本社：東京都港区、取締役社長：小林 喜光）は、当社の 100%子会社である日本ポリケム株式会社（本社：東京都港区、取締役社長：村上 永一、以下「JPC」）を通じて、タイ及びインドに、ポリプロピレン（以下「PP」）コンパウンドの製造設備を新設することを決定しました。

近年、アジア地域におけるモータリゼーションの進展は著しく、中国、タイ、インドに完成車メーカー及び部品メーカーが多数進出し、製造・販売台数は増加の一途をたどっています。さらに自動車業界では、製造・販売のグローバル化に伴い、地域に関わらず品質が一定した材料（グローバル材）の安定供給に対するニーズが高まっています。これらの要望に応えるべく、当社グループは、タイ及びインドに JPC の出資する製造・販売子会社を設立し、PP コンパウンド製造設備を新設することを決定しました。

当社は、PP 事業をコア事業の一つと位置づけ、JPC とチッソ石油化学株式会社との合弁会社である日本ポリプロ株式会社（本社：東京都港区、取締役社長：阿部 正浩、以下「JPP」）を中心に積極的に事業を展開しており、中でも自動車向けのハイグレードな製品を得意としています。当社グループは、今回決定した製造設備の新設により、日本、北米、中国（北京、広州＝建設中）、タイ、インドに PP コンパウンドの製造・販売拠点を有することとなります。

また、PP コンパウンドの製造には、高品質な原料 PP を安定的に確保することが不可欠です。当社グループは、08年4月の運転開始を目指し鹿島事業所に PP 製造設備を増設するとともに、JPP の持つ高付加価値 PP 製造プロセスのライセンス事業によって、より高品質な原料 PP の確保を図ります。今後も、世界各地域に所在する自動車業界の製造拠点に高品質なグローバル材を提供できる体制を確立し、真のグローバルサプライヤーとなるべく事業展開を行ってまいります。

※別紙：新設備、日本ポリケム㈱及び日本ポリプロ㈱の概要

別図：タイ及びインドの各新設備の位置図

【本件に関するお問合せ先】

三菱化学株式会社 広報・IR 室

電話：03-6414-3730

<タイ新製造設備の概要（予定）>

1. 所在地 タイ チョンブリ県 アマタナコン工業団地
 サンプルーン社（※） 第2工場敷地内
 ※塩ビコンパウンドの製造・販売会社（当社グループ 69.2%出資）
2. 生産能力 10,000 トン／年
3. 設備投資額 約7億円
4. 運転開始 2008年10月

<インド新製造設備の概要（予定）>

1. 所在地 インド ラジャスタン州 ニムラナ工業団地
2. 生産能力 15,000 トン／年
3. 設備投資額 約9億円
4. 運転開始 2009年4月

<日本ポリケム㈱の概要>

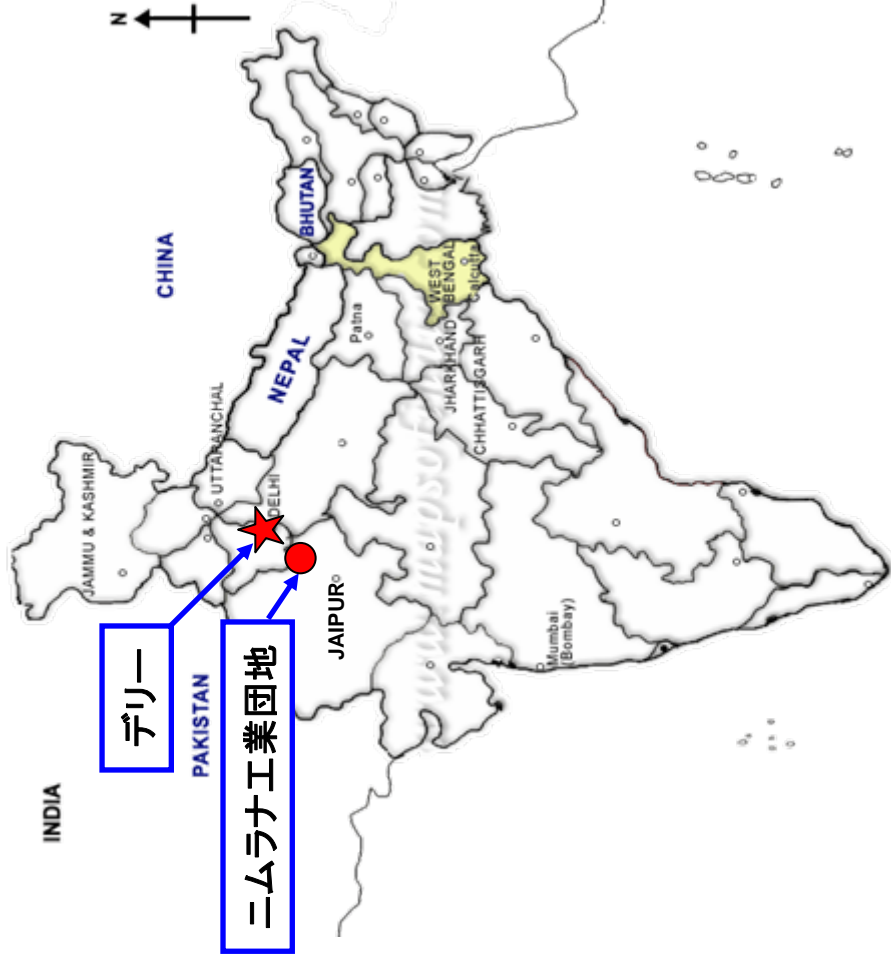
1. 本社 東京都港区
2. 社長 村上 永一
3. 資本金 2,341 百万円
4. 出資比率 三菱化学㈱ 100%

<日本ポリプロ㈱の概要>

1. 本社 東京都港区
2. 社長 阿部 正浩
3. 資本金 5,000 百万円
4. 出資比率 日本ポリケム㈱ 65%
 チッソ石油化学㈱ 35%

以上

インド新製造設備位置
(ニムラナ工業団地)



タイ新製造設備位置
(アマタナコン工業団地)

